

子どもたちは、社会科の「情報社会に生きるわたしたち」（社会科教科書p〇～p〇）で、様々なマスメディアから影響を受けていることを学習しました。授業では、新聞、テレビ、雑誌などメディアの特徴を学習し、現在の社会では、タブレットやスマートフォンを使ってインターネットに接続し、情報を受け取る機会が多いことを知りました。

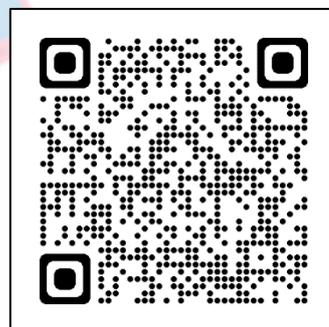
新聞やテレビは、発行されたり、報道されたりするまでに、たくさんの人が関わって取材や校正を行い、情報を発信しているのに対して、SNSに代表されるソーシャルメディアは、一人でも情報を発信することができます。手軽さゆえに、多くの人が利用していますが、発信する場合には、人一倍注意を払い、影響の及ぶ範囲を考えなければなりません。また、授業では、情報の受信時、発信時の注意点についても学習しましたので、ご家庭でそのような場面が見受けられましたら、見守っていただけると幸いです。

また、社会科に限らず、日頃から子どもたちには、困った時、迷った時には「立ち止まる」「考える」「(大人に)相談する」という思考のルーティンを働かせることを指導しました。自身で判断がつかない場合は、相談してくることもあるかと思いますので、その際には相談にのっていただきたく思います。

学習の関連動画のリンクです。

見ていただくと、より一層今日の学習のイメージが沸くのではないかと思います。

よろしければご覧ください。



NHK for School

なぜ起きる？炎上～SNS～

https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180468_0000